



東 俣 野 5月号

東俣野小学校 学校だより 平成31年4月26日

平成から令和へ

～時代が変わっても、変わらないもの～

学校長 岡田 浩

2年生から6年生そして教職員が、ドラえものの曲に合わせて手拍子をする中、ピカピカの1年生が体育館から退場していくとき、私は感動で胸がいっぱいになりました。思わず涙が込み上げてきました。

4月19日（金）の2校時に行われた「1年生を迎える会」でのことでした。新しく東俣野小学校の仲間になった1年生たちのために、2年生から6年生たちが各学年ごとに準備・練習してきた呼びかけや〇×クイズなどを発表してくれました。4年生全員で行った「はじめの言葉」。大きな画用紙に絵を描いて学校の紹介をしてくれた2年生たち。習ったばかりのリコーダー奏を取り入れた3年生による「終わりの言葉」は、全校みんなで盛り上がりました。みんなの思いが1年生に伝わるとてもあたたかい会となりました。

毎朝、子どもたちが登校してくる様子を私はバスの車窓から見ておりますが、頭の下がる思いでいっぱいになります。子ども安全サポートの会の皆様や、旗当番の保護者の皆様が、子どもたちの安全・安心を見守ってくださっています。先日の朝会での話です。

「毎朝、みんなの安全を見守ってくださっている安全サポートの会の方や旗当番のお母さんやお父さん方がいらっしゃいますね。校長先生だったら、朝、のんびりとテレビでも見てお茶でも飲んでいたいので、自分にはできないかもしれないなあと思うんだ。それなのに、やったださっているみなさんにしっかりと挨拶できていますか？」

「おはようございますの挨拶の後に、さらに付け加えるといい言葉があるんだけど、どんな言葉か分かるかなあ？」

子どもたちに尋ねると、ある児童が「よろしくお願いします！」と答えてくれました。

「そうだね。今年度もよろしくお願いしますっていうことだね。すごい！他にもいい言葉があるかな？」

「いつもありがとうございます！」と言ってくれた児童がいました。

「その通り！おはようございます！いつもありがとうございます！こう言えると、きっと立ってくださっている方も喜んでくださるよね。」

いくら時代が変わろうと、教育における感動や、地域・保護者・学校が協力し合って子どもたちを育てる大切さは、変わることはないと思います。どうぞ今後とも、本校の教育活動に多大なるご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。